**第1課 神様であられるイエス様 2018.7.8**

◎賛美(一同) : 韓日93番(聖歌608番)

◎信仰告白(一同) :使徒信条

◎御言葉朗読(一同) :ヨハネの福音書1章1節

◎本文朗読　◎主の祈り(一同) : 最後に

◎今日のマナ

キリスト教は2000年前にユダのベツレヘムで生まれてこの地で生きられたイエス様を、神様として信じ礼拝します。したがって‘イエス様はキリストであり、神の御子’であるという信仰は、決して妥協することの出来ないキリスト教信仰の根幹であります。今課では、イエス様の神性の意味とその証拠について見ていき、その意義について学んでいきます。

**1. イエス様の神性の意味**

‘イエス様の神性’は、2000年の歴史の間、キリスト教が信じ守ってきた信仰です。ある人々は、この信仰を放棄せずに殉教の血を流し、またある人々はこの信仰を否認する異端から教会を守るために人生を捧げて戦いました。そして数多くの福音伝道者たちが、この偉大な信仰を国々に伝えました。キリスト教の歴史をキリスト教の歴史を支えてきた信仰であるイエス様の神性は次のような意味を内包します。

一番目に、イエス様の神性は、イエス様は創造されていないお方であることを意味します。この世の万物は神様の創造物です。しかし、イエス様は創造されずに、創世の前から神様と共におられ、神様の創造の働きにも参加されました。ヨハネの福音書1章2～3節は “この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。”と語っています。

二番目に、イエス様の神性はイエス様は神様と同じ本性を持たれるお方であることを意味します。“キリストは、神の御姿であられる方なのに、”というピリピ2章6節の御言葉のように、イエス様は神様と本性を共有しておられます。したがって、イエス様は永遠であられ(へブル 1:11)、変わることがなく(へブル 13:8)、無所不在であられ(マタイ 18:20, 28:20)、全能であられ(黙示録 1:8)、全知なるお方です(ルカ 6:8、ヨハネ2:25)。しかしイエス様が人として来られた時には、このような神的本性を自ら制限なされました。

**2. イエス様の神性の証拠**

一番目に、イエス様の復活です。ローマ1章4節が“きよい御霊によれば、死者の中からの復活により、大能によって公に神の御子として示された方、私たちの主イエス・キリストです。”と語っているように、イエス様の復活は、イエス様が神様の御子であられるという事を証明する出来事です。イエス様は公の生涯の間、ご自身の復活を知っておられ、これを通して神様の御心が成されることも知っておられました(マタイ 16:21、マルコ 8:31∼32、ルカ9:22)。

二番目に、イエス様ご自身の宣言です。イエス様は公の生涯の間、何度もご自身の神性について語られました。特別にヨハネの福音書でイエス様はご自身を‘いのちのパン’(6:35)、‘世の光’(8:12)、‘羊の門’(10:7)、‘良い牧者’(10:11)、‘よみがえり、いのち’(11:25)、‘道であり、真理であり、いのち’(14:6)、‘まことのぶどうの木’(15:1)と言われました。またイエス様は、終わりの時に再臨して選びの民を集める人の子であると言われました(マタイ 24:29∼31)。

三番目に、イエス様を通して神様を見ることが出来ます。ヨハネの福音書14章7節で“あなたがたは、もしわたしを知っていたなら、父をも知っていたはずです。しかし、今や、あなたがたは父を知っており、また、すでに父を見たのです。」 ”と語っておられるように、イエス様を知った者は神様を知ったのであり、イエス様を見た者は神様を見たのです。旧約聖書が神様を部分的に見せているとするならば、イエス様は神様を、完全にはっきりと見せて下さいます。よってイエス様を‘神様の自身啓示’とも言います。

四番目に、イエス様は神様の御心を完全に成されました。“わたしが天から下って来たのは、自分のこころを行なうためではなく、わたしを遣わした方のみこころを行なうためです。”(ヨハネ6:38)と言われたイエス様の御言葉のように、イエス様は神様の御心を行うためにこの地に来られ、神様とともにおられました (ヨハネ8:29)。

イエス様は十字架の贖いという神様の御心を果たされましたが、これは旧約聖書に預言されていたことであり (イザヤ 53:4∼6)、ただ神様だけが成すことの出来る事でした。

五番目に、聖徒の体験です。キリスト教2000年の歴史の間、全世界のあらゆる所で、数多くの人々が聖霊様の働きの元でイエス様を神様の御子であり救い主であると信じてきました(Ⅰコリント12:3)。聖霊様の働きを通して、イエス様を神様と信じるようになった聖徒たちの体験こそ、イエス様の神性についての強力な証であります。今も、“「あなたは、生ける神の御子キリストです。」”(マタイ16:16)と告白する聖徒は、イエス様の神性を証言しているのです。

**3. イエス様の神性が与える意義**

イエス様の神性を認めなかった人々は、‘唯一なる’神様がどのようにして御父と御子に区別されて存在することが出来るのかという疑問を抱きました。そして彼らは、イエス様を、他の被造物よりは卓越しているが神様の創造された被造物の中の一つであり、神様と同じ本性を持っているのではないと主張しました。しかしこのような主張は、神的神秘であるイエス様の神性を、人間の不足な理性で理解しようとして生まれた誤った考えでありました。イエス様は神様です。イエス様の神性が与える意義を私たちは二つの側面から見ることが出来ます。

一番目に、イエス様の神性によって私たちは救いを受けることが出来ます。救いは被造物が神様の義にあずかるものであり、これはただ神様だけが成すことが出来ます。罪の無い神様だけが人間の罪を贖い、神様のいのちを付与することが出来ます(Ⅱコリント5:21)。そして創造主だけが、被造物を本来の創造の姿に回復させることが出来ます。もしも、イエス様が被造物だとするならば、このような救いの働きを成すことは出来なかったでしょう。しかし、イエス様は神様であられ、この全ての事を成されたのです。

二番目に、イエス様の神性によって私たちはイエス様を礼拝することが出来ます。クリスチャンは、イエス様を賛美し、主と告白します (Ⅰコリント1:2)。すなわち、イエス様は私たちの礼拝の対象です。被造物が礼拝する対象は神様お一方だけであり、神様以外の存在を礼拝する行為は偶像崇拝です。もしもイエス様が被造物ならば、イエス様に捧げる礼拝は偶像崇拝になります。しかしイエス様は神様であられ、私たちの礼拝を受けられるべきお方なのです。

◎マナの要約

**<イエス様の神性の意味>1**. イエス様の神性はキリスト教の確信真理です。

2. イエス様は創造されたお方ではありません。3. イエス様は神様と同じ本性を持っておられます。

**<イエス様の神性の証拠>**1. イエス様の復活です。2. イエス様ご自身の宣言です。3. イエス様を通して神様を見ることが出来ます。4. イエス様は神様の御心を完全に成されました。5. 聖徒の体験です。

**<イエス様の神性が与える意義>**

1. イエス様の神性によって私たちは救いを得ることが出来ます。

2. イエス様の神性によって私たちはイエス様を礼拝することが出来ます。

◎ 日々のマナ

<隣の人に挨拶>1. イエス様は神様です。2. イエス様は私たちを救われました。

3. イエス様は礼拝を受けられるべきお方です。

<祈り>1. イエス様の与えられた恵みを体験できるように祈りましょう。

2. 御言葉を通してイエス様をより深く知るように祈りましょう。

3. イエス様に向かう愛が日ごとにより深くなるように祈りましょう。

<とりなしの祈り>隣の人と祈りの課題を分かち合い共に祈りましょう。